



報道で紹介された美瑛高校 24

◆令和6年 10月 12日(R6. 10. 19 びえい新聞)

春に続き、高齢者福祉住宅ボランティアに参加しました。町内のボランティアの方々とともに、窓清掃などを行いました。施設利用者の方から感謝されすがすがしい気持ちになりました。

美瑛高校の生徒も奉仕活動に協力 福祉住宅でボランティア清掃



ボランティアセンター運営委員会による秋のボランティア清掃活動が、10月12日に南町と西町の各高齢者福祉住宅で行われた。当日の活動には、町社会福祉協議会や高齢者事業団、民生委員児童委員協議会、慈光会、輝星、美瑛高校、個人ボランティアなど23人が参加。手分けして各施設の外窓や玄関窓、内側共用部分の窓などを掃除した。この活動は春と秋に行われており、1時間ほどの作業で施設利用者から喜ばれている。

ボランティアセンター運営委員会の石崎克利委員長は「地域の支え合いにボランティアの力は必要不可欠。ニーズに応えられるよう個人ボランティアへの参加を呼びかけていきたい」と話す。個人ボランティアに登録すると、できることをできる時間に無理なく活動できるよう調整。得意な技能を活かした活動はもとより、ゴミ出し、窓ふき、草取り、電球交換、話し相手、外出の付き添い、買い物代行をはじめとする、様々なボランティアがある。登録はボランティアセンターで随時受け付け。神棚や換気扇など高い場所の掃除で不安を感じた時でも気軽に連絡。「専門業者に頼むほどのものでもない」と思うようなことでも相談にのってくれる。ボランティアをしたい人、してほしい人、どちらも登録に関する問合せは、町社会福祉協議会内の美瑛町ボランティアセンター ☎0166-92-0733まで。